

## 指定管理者評価シート

### 一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市荒町児童館
2	指定管理者	特定非営利活動法人ワーカーズコープ
3	指定期間	平成27年4月1日から令和2年3月31日まで
4	施設の利用状況	<p>《利用者数》 32,395人（前年度比 108.9%）          平成29年度 29,739人          平成28年度 27,407人          平成27年度 29,179人</p> <p>《事業》          児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業</p>
5	収支の状況	<p>《費用》</p> <p style="text-align: right;">（ ）は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指定管理者に支払った費用 34,012千円 （ 34,370千円）</li> <li>・ その他市が負担した費用 0千円 （ 0千円）</li> </ul> <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 使用料収入 0千円 （ 0千円）</li> <li>・ その他収入 0千円 （ 0千円）</li> </ul>
6	利用者の声	<p>《実施状況》          利用者アンケート、地域懇談会、児童クラブ保護者会を実施。</p>

### 二 管理運営に係る評価

（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。施設の開館については、開館遅延等の不適切な事案が見られたことから、再発防止策の徹底が求められる。	28/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。児童クラブの児童が、電力を使わない涼として打ち水をして練り歩く地域の祭りの稚児行列とその事前学習に参加し、環境への理解を深めている。	23/23
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	子どもが意見を出し合い、企画、運営に主体的に参加できる機会を「児童館まつり」等で設けているほか、児童クラブにおいても、生活や遊びについて子どもと一緒に考える機会を定期的に設けるなど、主体的に過ごせるよう支援している。保護者懇談会の開催や年4回のクラブ通信の発行により、クラブ全体の育成支援について家庭への情報提供を適切に行っているほか、一人ひとりについては個人面談の期間を設け、希望者の相談に応じるなど、相互に子どもの様子を伝え合える環境づくりに努め、家庭と連携した育成支援に取り組んでいる。	18/18

### 三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み	評価すべき理由
<b>加点評価</b>	—

### 四 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人ワーカーズコープ）による自己評価》
<p>荒町地区には昔ながらの商店街や地域の組織があります。児童館を利用する全ての皆さんが、地域と共に生きていることを実感し、知るきっかけとなるような取組みを行いました。</p> <p>○児童健全育成・地域交流推進 あらまち畑の活動が、老人クラブ、地域の方々、皆が触れ合う畑に発展しました。参加された皆さんが、年間を通して作物の命に寄り添い、収穫の喜びを共に分かち合いました。収穫した野菜を独居高齢者へ配りにも行きました。この活動がきっかけとなり、ハロウィンイベントで回らせていただいたお店＝子どもたちが駆け込めるお店となり、子どもたちの命を守る防犯マップ作りへ発展しました。</p> <p>○子育て家庭支援 児童館を居場所の一つとして認識して頂けるように他団体との連携・共催行事を実施し、新規利用の方々が増加しました。若林区家庭健康課との連携で歯科と栄養の講座を実施したり、ボランティアサークルと共催し多胎児向けサロンを実施したりしました。また、一般利用の乳幼児保護者有志とともに「おさがり会」を実施し好評を頂きました。子育て支援クラブ結成に向けての土台もできました。</p> <p>○児童クラブ 本館・サテライトを活用し、子どもたちの放課後の安心・安全が保たれるよう意識して運営しました。不審者対応のヒヤリハットについては職員間の連携・対応方法を改めて確認し、今後に向けて研修を実施しました。保護者の協力もあり、より強固の安全対策を考えることができました。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>地域の祭りへの参加、商店街をまわるハロウィン行事や防犯マップ作り、サケの飼育と広瀬川への放流活動など、子どもが地域の文化や自然に触れ、地域と関わりながら育つ環境づくりに取り組んでいる。卓球や畑の活動を通じた地域の方との交流、地域商店と連携したパンや味噌作り体験、食を通じた地域世代間交流の場である社会福祉協議会・民生委員児童委員協議会による「すまいる食堂」との連携等を通して、児童館・児童クラブの存在についての理解を広げ、親しみを持ってもらえるように努めている。地域の方々に見守られた安心・安全な健全育成の環境づくりに取り組んでおり評価できる。</p> <p>乳幼児を対象にした活動では、登録制の幼児クラブ、自由に利用できる子育てサロン、家庭健康課と連携した0歳児親子対象行事等を実施している。参加者同士の交流や気軽な相談の場等を提供し、地域ボランティアや子育てサークル等と連携を図りながら地域における子育て家庭を支援している。</p>	A

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進室